



【重要なお知らせ】

中南米、アフリカ、東南アジア

などに渡航される方へ

「ジカウイルス感染症」 が流行しています！

渡航中は、
蚊^カに注意
してください！



蚊に刺されることで感染します



渡航中は、長袖、長ズボンを着用し、定期的に虫除けスプレー等を使用し、**蚊に刺されないように**しましょう。

妊娠中・妊娠の可能性のある方はご注意下さい



妊娠中にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症などの先天性障害をもたらす可能性があることから、流行地域への**渡航を控えてください**。

性行為で感染する可能性があります



渡航中は、**症状の有無にかかわらず、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください**。

詳しくは
→ → →

検疫所ホームページ **FORTH**
<http://www.forth.go.jp>



FORTH ジカ



中南米、アフリカ、東南アジアなどで 「ジカウイルス感染症」 が流行しています！



特に妊婦および妊娠の可能性のある方はご注意ください

妊婦および妊娠の可能性のある方へ



- ・妊娠中にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症などの先天性障害をもたらす可能性があることから、妊婦および妊娠の可能性のある方は流行地域への渡航を控えたほうが良いとされています。やむを得ず渡航をする場合は、特に蚊に刺されないように注意してください。

流行地域に渡航される方へ（渡航中の注意事項）



- ・流行地域では、長袖、長ズボンの着用や、定期的に蚊の忌避剤（虫除けスプレー等）を使用するなどして、蚊に刺されないように注意してください。
- ・性行為感染等のリスクを考慮し、流行地域に滞在中は、症状の有無にかかわらず、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。

帰国時の注意事項など詳しくは →

検疫所ホームページ **FORTH**
<http://www.forth.go.jp>

FORTH ジカ



ジカウイルス感染症

【症状】

主として軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など

【感染経路】

ジカウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。輸血や性行為によって感染する場合もあります。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いいため気付かないこともあります。

【流行地域】

○中南米

アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ボネール、ブラジル、英領バージン諸島、ケイマン諸島、コロンビア、プエルトリコ、コスタリカ、キューバ、キュラソー島、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グレナダ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、マルティニーク、メキシコ、モントセラト、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、サバ島、サン・バルテルミー島、セントルシア、セント・マーティン島（仏領サン・マルタン及び蘭領シント・マールデン）、セントビンセント及びグレナディーン諸島、シント・ユースタティウス島、セントクリストファー・ネーヴィス、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島、米領バージン諸島、ベネズエラ

○大洋州

米領サモア、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ

○アフリカ

アンゴラ、ブルキナファソ、ブルンジ、カーボベルデ、カメルーン、中央アフリカ、コートジボワール、ガボン、ギニアビサウ、ナイジェリア、セネガル、ウガンダ

○アジア

バングラデシュ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

○北米

米国



（平成29年3月31日現在）